

# 肌で触れる、 宇津ノ谷の恵み図鑑

宇津ノ谷を歩くと、多くの植物や動物に出会えます。  
ここでは、そのほんの一部を紹介します。  
ぜひ、歩きながら探してみてください。



### クズ

林のへりなどに生える多年草です。  
7月ごろに沢山の紅紫色の花が集まって咲きます。昔から「秋の七草」として親しまれています。



### ウバユリ

花が咲く頃に葉が落ちることから、歯の無い「姥」に例えて名付けられました。胎座に甘みがあることから山遊びをする子供のおやつにもなったとか。



### サザンカ

江戸時代から庭木として愛されてきている、日本人には馴染みの深い花木です。花色は桃・紅・白などがあり、咲き方も一重咲き・半八重咲きラッパ咲きなど様々です。



### テイカカズラ

藤原定家が名前の由来の低木です。式子内親王を愛した定家が死後も彼女を忘れられず、植物に生まれ変わり墓に寄り添ったという伝説が残されています。



### アケビ

秋に熟す果肉は大変甘く、山の子供の絶好のおやつ。果実は乳白色のゼリー状で甘味があり、黒い小さな種がたくさん入っているんです。



### ミズヒキ

上から見ると赤、下から見ると白に見える、その様子が水引に似ていることからこの名が名付けられました。



### オオルリ

美しい青色の体とさえずりで知られる鳥です。青色なのはオスだけで、メスは茶褐色をしています。



### ヤマガラ

頭とのはくは黒く腹は黄褐色をしています。足を使ってかたい木の实などははさんで叩き、割って食べます。



### カワセミ

翡翠のような鮮やかな体色から飛び宝石ともいわれます。巣は土崖に横穴を掘って造ります。



### ウグイス

日本人にいちばん親しまれている鳥といえるでしょう。うぐいす色といわれる色彩ですが、実際のウグイスの羽色は緑よりも暗緑茶色です。



### セグロセキレイ

黒い顔に白い眉のような模様の持ち主。水辺に生息する鳥で、飛び立つときに「ジュビツ」と濁った声で鳴きます。



### メジロ

目の周りの白い縁取りが目立ち、英語でも「white-eye」と呼ばれます。体が大変小さく花の蜜を好むため「はなすい」「はなつゆ」とも呼ばれます。

### 鳥媒花



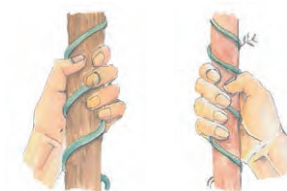
梅、山茶花などは蜜を吸いに来たヒヨドリやメジロに花粉を運んでもらうことで受粉します。鳥が媒体となって受粉のなかだちをすることから、鳥媒花と呼ばれます。

鳥媒花には赤い花が多く、鳥が止まるために硬くなっているものがほとんどです。虫を寄せる花よりも香りが薄いのは、鳥の嗅覚が弱いからです。

### ヒヨドリ

平安時代は貴族の間でよく飼われており、可愛がられていた鳥です。果肉や花の蜜を食べ、甲高い声の特徴です。

### 蔦の細道のつる植物



蔦の細道はその名の通り、多くのつる植物に出会えます。一人で立ち上がることのできないつる植物は、他の植物などを支えに巻きついて育ちます。

巻き付き方にも種類があり、左巻き、右巻きのようにくると巻き付くものや、べたりとくっつく付着根と呼ばれる根を張って登るものもいます。